

工事概要

■ 国道54号の相生橋西詰交差点から十日市町一丁目交差点までの約350mの区間で排水性舗装の工事を行いました。
本工区は、広島国道事務所が管理する国道54号で唯一コンクリート舗装が表面に残っていた箇所（トンネル部は除く）で、地域住民の方から騒音や振動に関する苦情が多くあったためコンクリート舗装を撤去し、排水性舗装を施工したものです。これにより騒音・振動が低減し、雨天時における走行性の向上が図られました。

■ 施工箇所： 広島市中区本川町～十日市町

■ 施工延長： L=348 m

■ 施工期間： H18.3.17 ~ H18.10.31



施工前・後の状況写真

○ 本川町横断歩道橋より相生橋方面

施工前



施工後



○ 本川町横断歩道橋より十日市方面

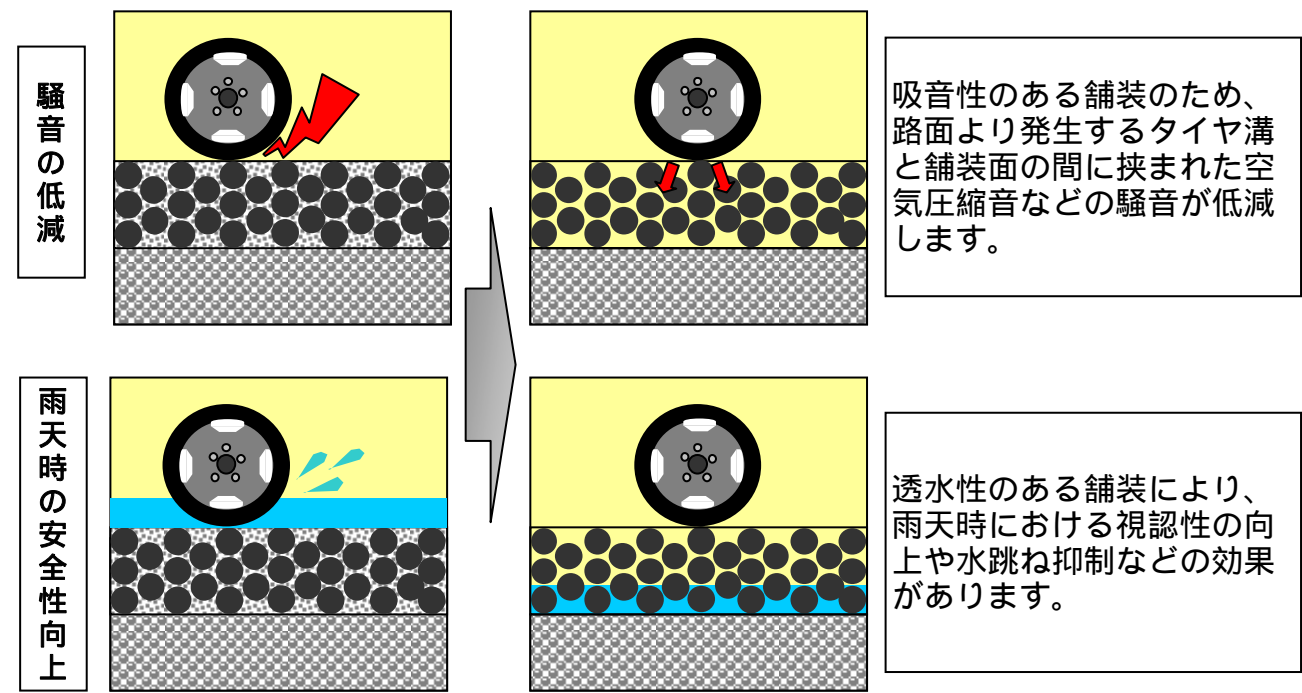
施工前



施工後

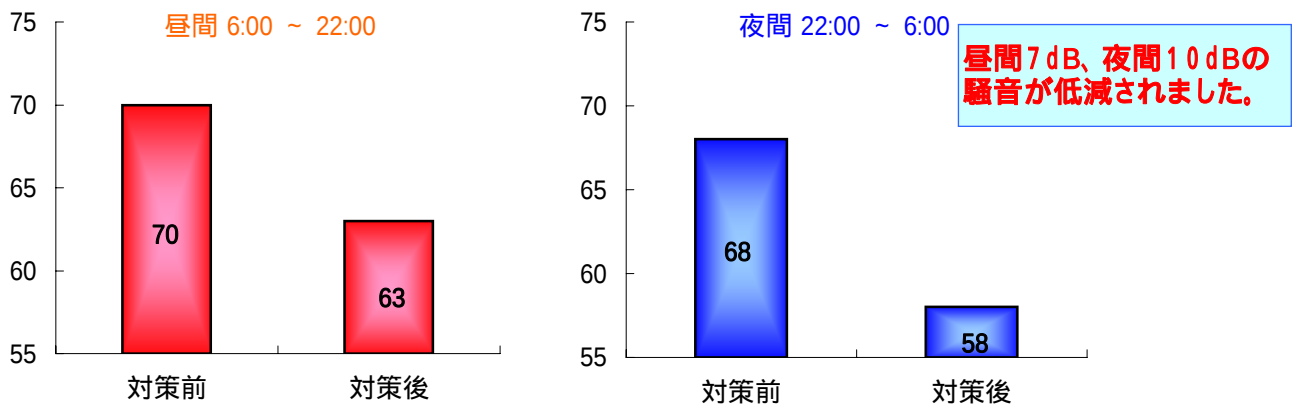


排水性舗装

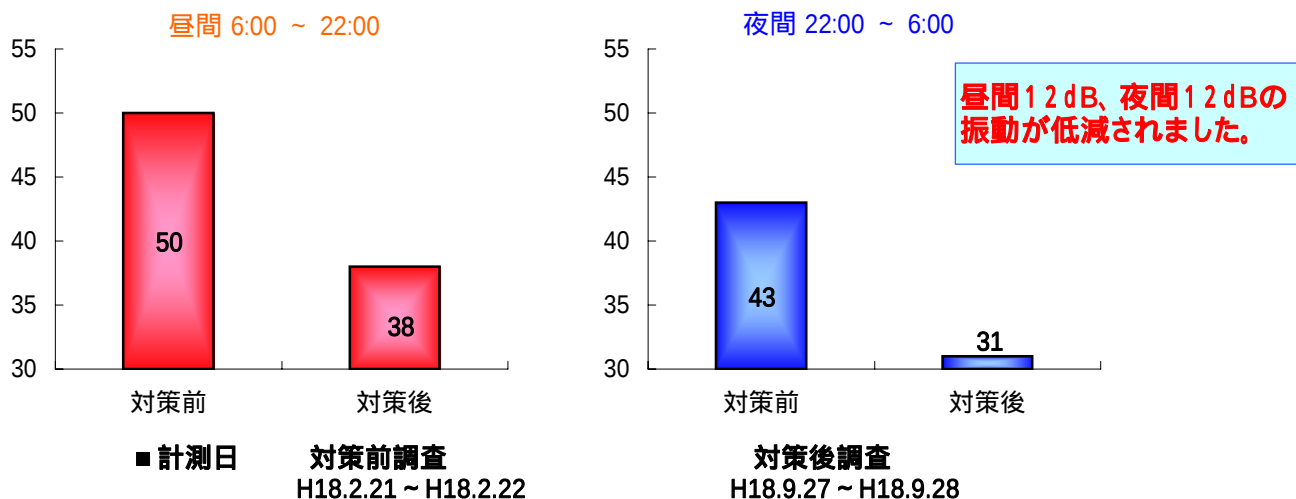


騒音・振動低減効果調査結果

騒音レベル(Leq)調査結果



振動レベル(L10)調査結果



聞き取り調査結果

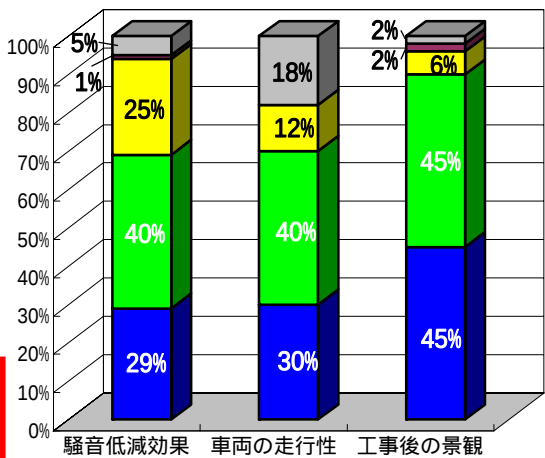
工事終了後、聞き取り調査にご協力いただいた沿道住民200名のうち、約7割の方より「静かになった」という回答をいただきました。

- その他の結果として、
- ・窓を開けて仕事をするようになった。
 - ・車椅子で横断歩道を渡るとき非常に楽になった。
 - ・工事に関する広報がよくされていた。
 - ・夏季の工事は避けてほしい。暑さと騒音で参った。
 - ・とにかくうるさい。時間帯を考えた作業をしてほしい。
- 等がありました。

皆様のご意見を参考にさせて頂き、よりよい工事の実施を目指します。

アンケート結果

調査日：H18.9.10～H18.9.20
アンケート総数：200名



地元自治会長からお礼

- 無回答
- 悪くなった
- 変わらない
- 良くなった
- 非常に良くなった

工期短縮への取り組み

既設のコンクリート版を撤去し、通常は図 - 1 の左側のような断面で施工するのですが、施工業者の提案で本工事では基層及び上層路盤の仕上げ厚さを再生大粒径混合物という粒径の大きな材料で施工するQRP工法を採用しました。これにより、現道工事の施工時間の短縮や施工日数の短縮（70日→35日）による交通渋滞等の軽減になりました。また、工事に起因する振動・騒音等の沿道環境へ与える要因が減少しました。

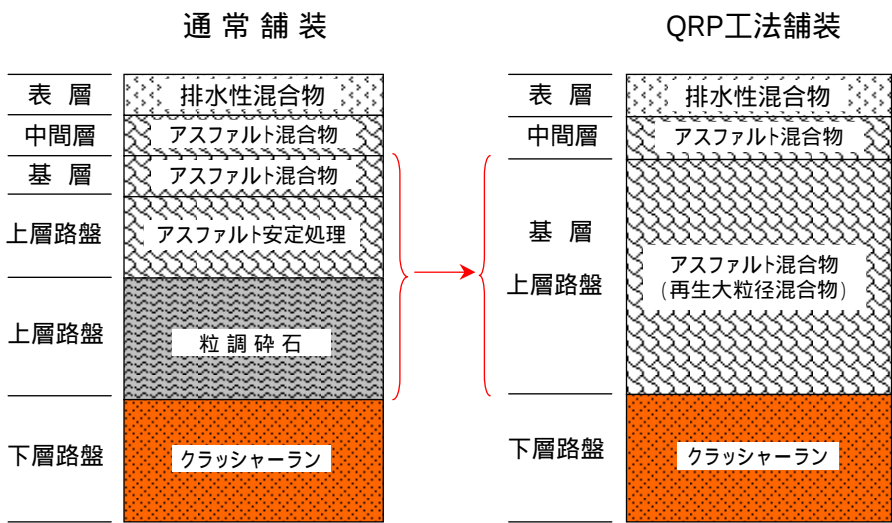


図 - 1